

テクノロジスト育成塾 第7回情報交換会

平成23年9月14日

「乾杯の辞」

東京海上日動システムズ株式会社
エグゼクティブオフィサー 経営企画部長
大内 美樹

(乾杯に先立ち)

ただ今ご紹介に預かりました大内でございます。

諸先輩方を前にして誠に僭越ではございますが、一言ご挨拶をさせて頂いてから、乾杯に移らせて頂きたいと思っております。

私共の会社も、このテクノロジスト育成塾の研修を受講させて頂いております。

今までに塾生として11名が卒業させて頂きました。

途中からBA研修も始まり、システムコンサルタント研修とBA研修の両方に出させて頂いているということになります。

BAについてなのですが、我々も色々な研修を探したのですが、なかなかBAの研修というものは世の中にないので、それにいち早く取り組まれていらっしゃる黒岩社長のところにお世話になるという形で参加させて頂いております。

私は昨年末にアメリカへ行く機会があり、BANK OF AMERICAを訪問し、BAとは何をやっているのかヒアリングをしてきました。

色々な話をお伺いしたのですが、アメリカでは、BAとPMとは完全に役割が分かれています。日本とはそこが少し違うと感じております。

色々とヒアリングする中で、「BAとPMのどちらの給料が高いのですか？」という質問をしました。

これについては「どちらも給料は変わりません。価値としては一緒です。」という話でした。

次に少し意地悪な質問で、「ではあなたが一人雇うとしたら、どちらを雇いますか？」という質問をしたところ、なんと「絶対BAを雇います。」と、そういう回答でした。

「なぜですか？」と聞くと、「プロジェクトはPMがいなくても何とかなるが、要件が決まらなければものは作れないので、絶対それはBAに決まっている」という話でした。

なるほどな・・・という風を感じた次第です。

このように、今、我々ITとビジネスとは切っても切れない間柄になってきていますし、まさに境界がなくなっているということだと思います。

BAというものがその橋渡しをするということで、非常に大切な役割であり、どんどん価値が高まっているのではないかと感じております。

(乾杯の発声)

それでは、乾杯に移らせて頂きます。

この情報交換会は7回目ということですが、ますます発展して、ここにいらっしゃる皆様の繋がりがますます広がっていくこと、また、今日ご参加の皆様方のご健勝とご多幸を祈念し乾杯したいと思います。

ご唱和を御願います。

「カンパ〜・・・イ」

どうもありがとうございました。

(拍手・・・)

(以上)